

# 放課後等デイサービス事業者 自己評価 検討結果(平成29年度)

事業所名：わんぱくクラブ三宿

検討日時：2018年3月17日

	工夫している点	課題	改善目標
環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚過敏の子に対して、安心できるスペースを作っている。</li> <li>・着替えの際は仕切りを設置し、見られることが無いようにしている。</li> <li>・靴を履くときはイスを出すようにして履きやすいように配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨天時の大人数での部屋遊びは閉塞感を感じる。</li> <li>・法的な人員配置は満たしているが、人手が足りないと感じることがある。</li> <li>・事務室に子どもが入れる構造になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有料媒体を使つてのスタッフ募集、近隣の学校・まちづくりセンターへのボランティア募集の呼びかけを行っていく。</li> <li>・大人数での部屋遊びの遊び方・スペースの使い方を工夫する。</li> <li>・事務室へは入らないように伝え、必要なものがある場合にはスタッフに伝えるように援助していく。</li> </ul>
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月ごとに目標を立てて活動をしている。週ごとのまとめ・月ごとのまとめを行い、以降の保育に繋がれるようにしている。</li> <li>・保育後に当日の保育の振り返りを行い、個人記録を書く時間を作っている。スタッフ同士での話し合いの時間を多く設け、スタッフ全体で子ども達の変化に気が付けるようにしている。</li> <li>・法人内の研修制度を使って外部研修に参加している。</li> <li>・年3回、事業所内で学習会を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の会議で話し合われた内容を保育の打ち合わせで伝えているが、うまく伝わっていないことや、保育に活かさきれていないことがある。</li> <li>・研修会のスケジュールが合わず、参加できないスタッフも多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月ごとの目標やまとめをスタッフにも配布し、内容を共有できるようにする。</li> <li>・研修会に参加できなかったスタッフへ資料を配布し、個別に研修内容を説明出来るようにする。</li> </ul>
適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡ノートを来所時に必ず確認している。活動内容やその日の様子などを丁寧に書くことで保護者との共通理解を行っている。</li> <li>・職員同士で役割分担して活動を行っている。</li> <li>・子どもの好きな歌・キャラクターなどを参考にして保育に活用している。</li> <li>・保護者と話したことの中で保育に繋げる必要があることはスタッフ全体で共有できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントの結果を保育スタッフに十分に伝えきれていない。</li> <li>・月ごとの事例検討で全員分の検証が出来ていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の記録を充実させる。</li> <li>・保育スタッフ全体で活動プログラムについて話す機会を設ける。</li> <li>・保育後の振り返りの時間を使って、障害についての勉強の時間をつくる。子どもたちがそれぞれ抱えている困りごとについて意見交換をし、事業所全体でどのように援助をしていくかの話し合いをする。</li> <li>・利用登録書、てんかんに関する同意書、アレルギー調査票を毎年更新できるようにする。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の宿題を活動中に行えるようにしている。</li> <li>・学校へのお迎えの際に先生方と積極的に話すように心掛けている。</li> <li>・保護者との懇親会を年に2、3回行っている。</li> <li>・常に見学が出来ることを呼びかけ、保護者が気軽に活動の様子を見られるようにしている。</li> <li>・保護者会を毎月行っている。活動中の写真を見せることでより詳しく活動内容の報告が出来るようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人外の児童発達支援・幼稚園とは連携をしたことがない。</li> <li>・送迎を行っていない学校とは関係性が薄くなってしまっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校公開に進んで参加し、関係機関との連携を取れるようにする。</li> <li>・障害の無い子どもと一緒に活動出来る機会を作る。</li> <li>・月1回程度、担当教員と話す機会を作る。</li> <li>・親子参加行事の回数を増やし、スタッフと保護者だけではなく保護者同士が関わる機会を作っていく。</li> <li>・法人内の他の放課後等デイサービス施設との合同行事を計画する。</li> </ul>
保護者への説明責任等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が送り迎えをする場合には、活動内容の報告だけではなく家庭での過ごし方などを聞けるようにしている。</li> <li>・事業所のお便りで月ごとの予定・活動内容を知らせている。</li> <li>・ハロウィン・クリスマスなどの季節行事の際に、近隣の高齢者施設と協力し利用者同士が交流する機会を作った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お便りの発行回数が少ない。</li> <li>・運営規定を配布しているが、細部の説明が出来ていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お便りの発行日を決め、定期的に配布出来るようにする。</li> <li>・保護者会で運営規定の説明をする。</li> <li>・送り迎えの際に十分に話が出来なかった場合には別の機会を作れるようにする。</li> </ul>
非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の歩行の際に、先頭と最後尾を職員が歩き声を掛け合うことで非常時に備えている。</li> <li>・服薬が必要な利用者の薬を預かっている。</li> <li>・災害時に備えて食料・水・毛布・非常用トイレ・発電機を置いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に避難訓練を行っていない。</li> <li>・全員分の薬を預かれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者対応など、外部の力を借りて行えるようにする。</li> <li>・薬の預かりを再度伝え、3日分を預かるようにする。</li> <li>・アレルギーは定期的に聞き取りを行い、情報を更新していく。</li> </ul>